

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

<b>事業名</b>	薬局医療安全対策推進事業			<b>担当部局庁</b>	医薬・生活衛生局			<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	平成20年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課			課長 森 浩太郎		
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-			<b>関係する計画、通知等</b>	医療安全対策検討ワーキンググループ「今後の医療安全対策について」報告書(平成17年5月)					
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、医療安全の確保を目的とする。									
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、その発生原因等を分析して再発防止に役立てる。 【補助率:10/10】									
<b>実施方法</b>	補助									
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	38	39	38	38	38	0		
	執行額	38	39	38						
	執行率(%)		100%	100%	100%					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	実際にヒヤリハット事例を報告する環境が整った(医療安全の意識が高まった)薬局の数を把握する	事業参加薬局のうち報告のあった薬局数 ※26年度及び平成27年度の数字は集計中のため、25年度実績を記入	成果実績	件数(暦年)	661	661	集計中	-	-	
			目標値	件数(暦年)	798	661	集計中	-	661	
			達成度	%	83	100	集計中	-	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	本事業への参加薬局件数	活動実績	参加薬局件数(暦年)	7,892	7,892	集計中	-			
		当初見込み	参加薬局件数	7,166	7,892	集計中	集計中			
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	X:補助金執行額(千円)/ Y:薬局ヒヤリ・ハット報告件数(件) ※26年度数字は集計中のため、25年度実績を記入	単位当たりコスト	円	4,934	4,934	集計中	-			
		計算式	X / Y		38,220/7,747	38,220/7,747	集計中	-		
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	医療施設運営費等補助金	38								
	計	38	0							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器を国民が適切に利用できるようにすること( I-6 )							
	施策	医薬品の適正使用を推進すること( I-6-3 )							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、再発防止に役立て医療安全の確保を目的とする事業であり、ヒヤリ・ハット事例の収集のため、本事業への参加薬局数の増加を促進し、分析・評価した内容を関係者に周知した。								
	改革項目	分野:	-						
	KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
目標値		-	-	-	-	-	-	-	
KPI (第二階層)	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
国費投入の必要性	項目	評価							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○							
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-							
事業の有効性	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○							
	費用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○							
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-							
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△								

評価に関する説明

本事業は、薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、分析・評価を行うことにより、医療安全の確保することを目的とし、国民の保健衛生の維持向上に寄与するものであることから、国民や社会のニーズを的確に反映している。

全国の薬局におけるヒヤリ・ハット事例の発生予防・再発防止を図ることを目的としている事業であり、国が実施すべき事業である。

国民の保健衛生の維持向上に寄与する事業であり、優先度の高い事業である。

公募により選定している。

受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。

本事業の参加薬局は増加しているため、コストの水準は妥当であると考えられる。

費目・用途は、事業実施に必要なものに限定されている。

実施要綱を毎年度精査して、効率的な実施に努めている。

集計中

集計中

